

第50期 決算レポート

2023年4月1日～2024年3月31日



株式会社ヨンキュウ

決算ハイライト(連結)

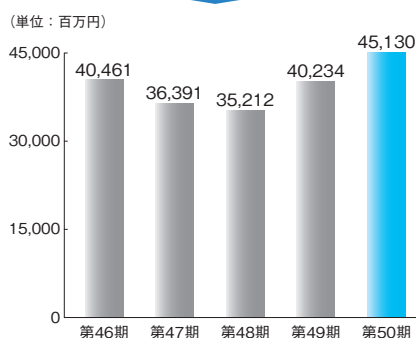
ココが
POINT!

- POINT 1 餌料・配合飼料の価格上昇
- POINT 2 ウナギ養殖事業での稚魚代や飼料等高騰
- POINT 3 販管費の増加（貸倒引当金繰入及び諸経費高騰）

売上高

45,130 百万円

対前期比 12.2%増 ↑



第51期業績予想

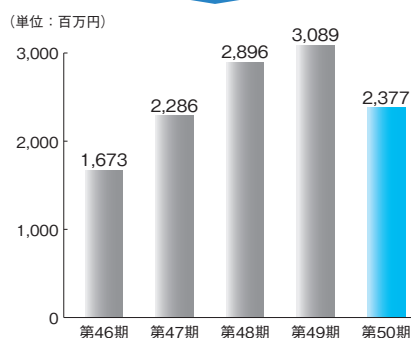
46,000 百万円

対前期比 1.9%増 ↑

経常利益

2,377 百万円

対前期比 23.1%減 ↓



第51期業績予想

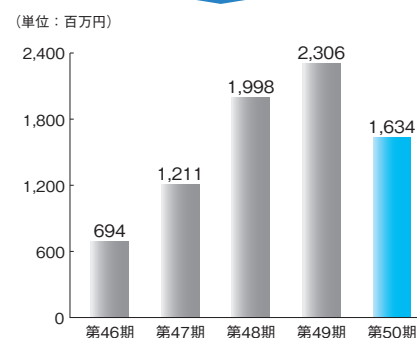
2,500 百万円

対前期比 5.2%増 ↑

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,634 百万円

対前期比 29.1%減 ↓



第51期業績予想

1,800 百万円

対前期比 10.1%増 ↑

株主の皆様へ

当社グループが属する水産業界は、経済活動の正常化やインバウンド需要の高まりなどにより水産物の取扱量が徐々に回復する一方で、ウクライナ紛争の長期化やさらなる円安の進行により原材料や様々な経費が上昇するなど、経営環境は厳しい状況が続いております。このような状況の中、当社グループは、取引先や消費者の皆様からの幅広いニーズにお応えするために、従来にも増して「安定的な収益確保と持続的な成長」を目指します。

その具体的施策として、昨年秋に鮮魚加工場において食品安全システム（FSSC）22000の認証を取得するなど、加工形態の多品種・多様化や海外への輸出に向けて品質管理態勢を強化しましたが、今後も本社加工場への設備投資などにより引き続き鮮魚加工事業の強化を図ります。さらに、ウナギ養殖事業においても今年1月に第三養鰻場が完成するなど、事業規模の拡充に向け積極的な設備投資を実施しました。また、養殖漁業へのトータルサポートや、水産エコラベル（MEL認証）の取得等により、水産資源の持続的利用や環境保護に取り組み、安全・安心な美味しい魚の安定供給を追求し、事業活動を通じて「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にも貢献してまいります。

これからも消費者や業界の皆様、地域の皆様に信頼される企業として、水産業界の発展に貢献できれば幸いに存じます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
笠岡 恒三

営業の概況

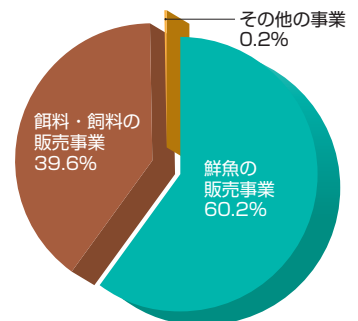
当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、ウクライナや中東の国際情勢が不安定な中、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動の正常化が一段と進み、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加を受け国内景気は緩やかに回復しつつある一方、大幅な円安の進行による諸物価の上昇が続き個人消費への圧迫を一層強めています。

当養殖業界におきましては、赤潮の発生、福島第一原発処理水の海洋放出による輸出の激減、また、生餌の不漁や配合飼料など原材料価格の上昇や高止まりにより、依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループの「鮮魚の販売事業」は、主力商品であるハマチ及びその加工品の販売数量が伸びたものの、ウナギ養殖事業において数量減少と価格低下があり減収となりました。一方、「餌料・飼料の販売事業」は、生餌の不漁により販売数量が微増、配合飼料は販売数量が増加し、ともに価格上昇により売上高は増加しました。

利益面では、販管費が増加（貸倒引当金が前連結会計年度は戻入、当連結会計年度は繰入及び諸経費高騰）し、また、ウナギ養殖事業においても稚魚不漁により稚魚代高騰や飼料高騰による養殖原価も相まって各利益は前年実績を下回るものとなりました。

売上高構成比

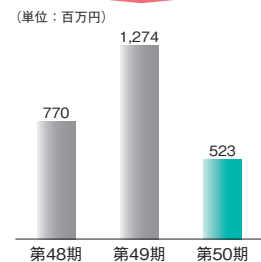
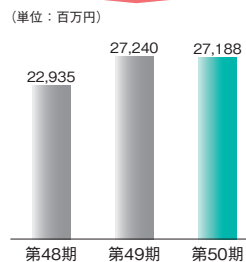


売上高

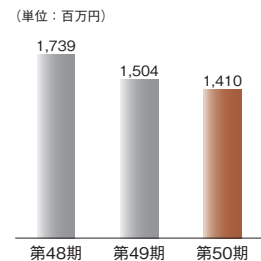
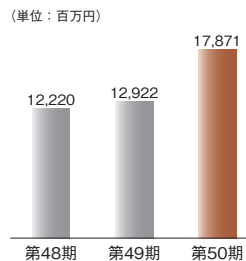
営業損益



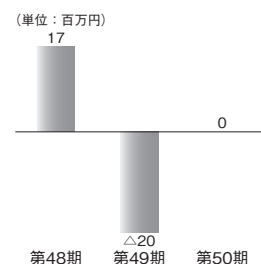
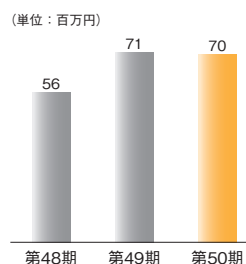
- ウナギ養殖事業での数量減と価格低下により減収
- 売上高は前期比0.2%減



- 餌料・配合飼料の数量増と価格上昇により増収
- 売上高は前期比38.3%増



- 売上高は前期比0.7%減



TOPICS

ウナギ養殖事業を行っている株式会社西日本養鰻では、
2024年1月、鹿児島県鹿屋市に第三養鰻場が竣工し、
第三事業所として事業開始しました。(生産能力：150万尾／年間)



(株)西日本養鰻 第三事業所
第二事業所の隣(写真右上)

(株)西日本養鰻 第二事業所
(鹿児島県鹿屋市)
2018年8月完成



(株)西日本養鰻 第一事業所
(鹿児島県曾於市)
2015年3月完成

株式情報 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	12,266,022株
株主数	7,483名

会社概要 (2024年3月31日現在)

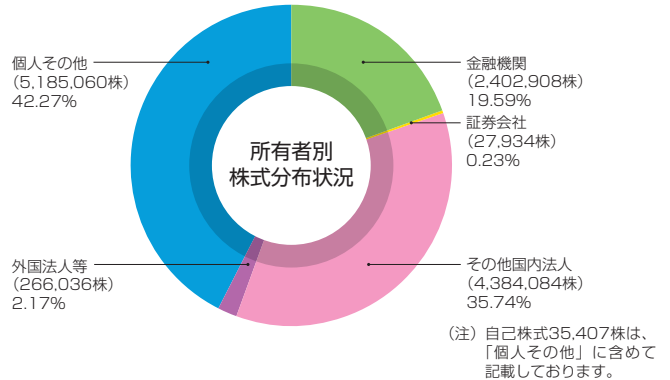
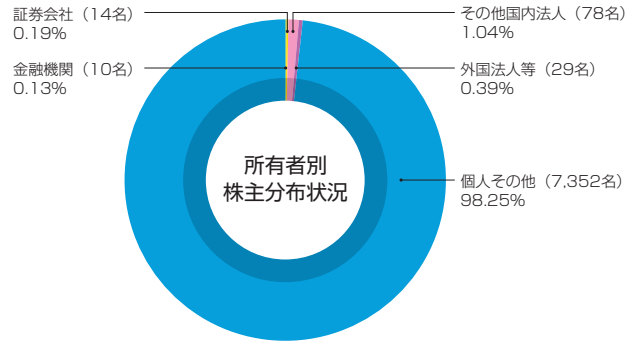
社名	株式会社ヨンキュウ
所在地	愛媛県宇和島市築地町2丁目318番地235
設立日	1963年4月26日
資本金	27億5,710万7,333円
事業内容	鮮魚販売、餌料・飼料販売、 養殖用稚魚の生産・販売
従業員数	105名
子会社	株式会社海昇 四急運輸株式会社 日振島アクアマリン有限責任事業組合 株式会社西日本養鰻
主要取引先	各地漁業協同組合、各地養殖漁業者、 全国中央卸売市場（荷受会社）

役員 (2024年3月31日現在)

代表取締役社長	笠岡恒三
取締役相談役	笠岡繁樹
専務取締役	清水敏雄
常務取締役	梅田晃三
取締役	高川英穂
取締役	廣瀬了
取締役	宇都宮紀規
取締役	山口博
常勤監査役	若松和志
監査役	鈴木義直
監査役	酒井啓司
監査役	日野正浩

ホームページのご紹介

ホームページからも当社の
IR情報をご覧いただけます。
<http://www.yonkyu.co.jp>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.yonkyu.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告とすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所スタンダード市場

養魚グローバルカンパニー 毎日新鮮・毎日安心

